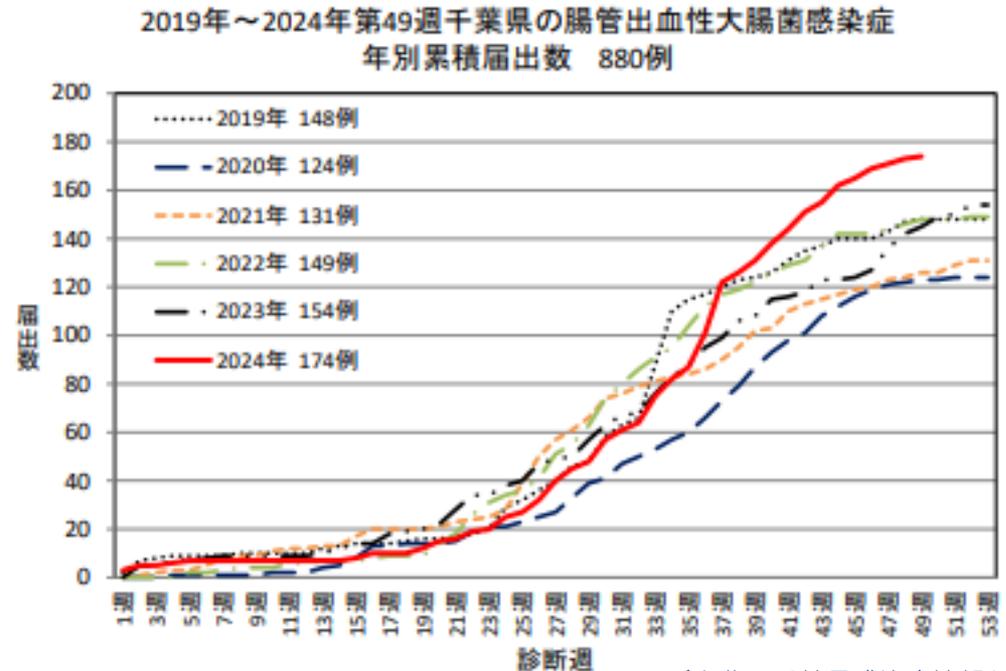


# I 感染症の発生状況について

健康危機対策課

# 感染症の発生状況 (腸管出血性大腸菌、麻しん)

- 令和6年8月に市内飲食店で腸管出血性大腸菌(O157)による食中毒が発生。うち1名が溶血性尿毒症症候群(HUS)合併症と診断された。県内においても例年と比較して報告数が増加している。

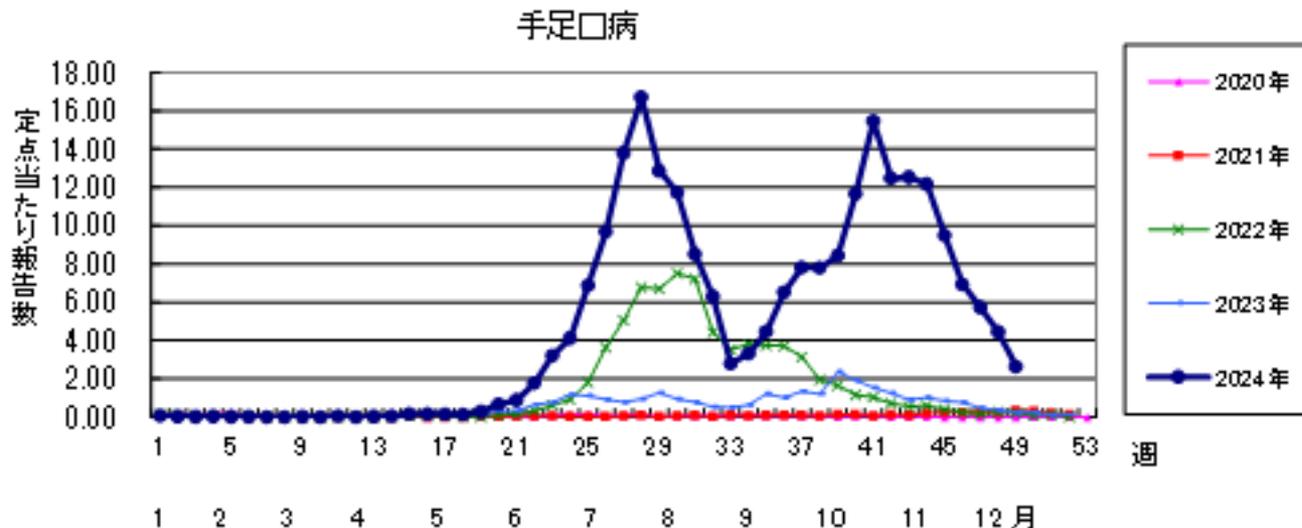


(出典：千葉県感染症情報センター)

- 令和6年11月21日にベトナムから入国した船橋市在住の男児が麻しんと診断された。12月12日現在において、感染拡大は認められていない。ベトナムでは麻しんが流行しており、国外感染と考えられる。

# 感染症の発生状況 (定点把握対象感染症の動向)

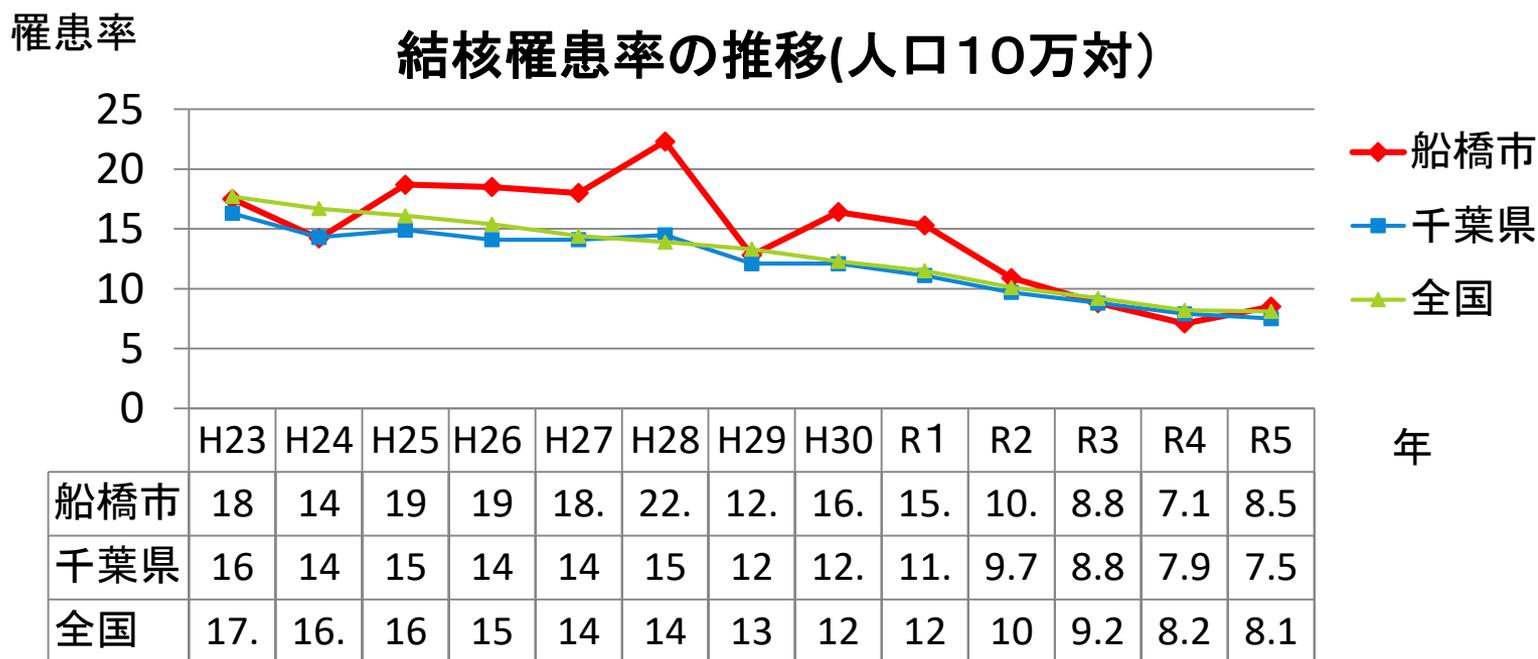
- 手足口病は、例年と比較して大幅に増加がみられた。  
なお、警報基準値を超えた第25週および第37週に、ホームページやX（旧ツイッター）等で注意喚起を行った。



(出典：千葉県感染症情報センター)

# 感染症の発生状況 (結核)

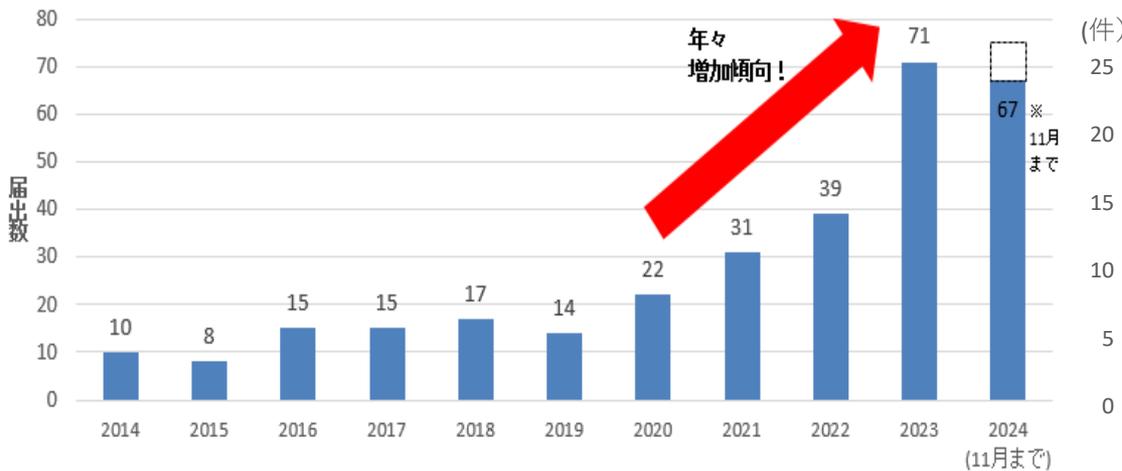
令和3年から日本の結核罹患率が10を下回り、「低まん延国」となった。  
日本の結核罹患率は、米国など他の先進国の水準に近づいた。  
しかしながら、船橋市の結核罹患率は令和5年に増加へ転じており、今後も引き続き、動向を注視する必要がある。



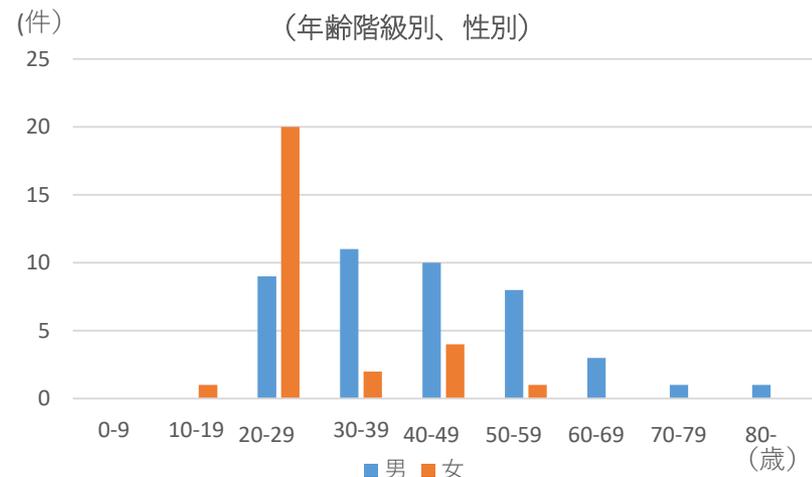
# 感染症の発生状況 (梅毒)

- 届出が過去最高だった昨年と同水準。(全国的傾向)
- 年代は男性は20代から50代、女性は20代が多い。  
男女比は男性6割女性4割。
- SNS、マッチングアプリなどを通じた出会いなどによる不特定の人との性行為も患者数増加の背景にあると推測されている。

2014年～2024年 梅毒発生届出数



船橋市 2023年梅毒発生届出数  
(年齢階級別、性別)



# 梅毒の傾向と予防等

## 【今後の動向に注視】

異性間性的接触による報告数が増加。女性症例の増加により、今後「先天梅毒」(\*)の発生が懸念される。

\* 妊婦から胎盤を通じ、胎児へ感染させ、死産、早産、新生児死亡、先天性の障害が起こることがある。

## 【予防】

- コンドームを適切に使用する。
- 心配があれば早めに検査を受け、医療機関を受診して早期治療を行う。
- 妊婦は妊婦健診で梅毒検査を受け、診断時には早期治療を行う。

## 【治療】

- 梅毒は、早期の適切な抗菌薬治療で完治が可能。
- 治療せずに放置すると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすため、症状がよくなっても自己判断で治療を中断しない。
- 感染している可能性がある周囲の方（パートナー等）も検査を受けて、必要に応じて治療を受ける。

# 梅毒を含む性感染症への取り組み

- 保健所では匿名無料で検査を実施。
- 梅毒の注意喚起のポスターを作成。医療機関、学校などの他、飲食店・旅館業に送付し、啓発を実施。併せて、希望のあった医療機関に啓発用コンドームを配布。
- SNSなどを利用し、注意喚起を実施。
- 保健福祉センター1階、船橋市役所1階、ふなばし健康まつりにおいてパネル展示を実施。
- 市立看護専門学校文化祭、千葉ジェッツ試合前での啓発活動を実施。

**梅毒感染者が増加しています**

2023年の梅毒発生届出数は過去10年で最も多い届出数でした。2024年に入っても届出数は多い状況が続いています。

年	発生届出数
2014	10
2015	15
2016	18
2017	20
2018	22
2019	25
2020	28
2021	32
2022	38
2023	55
2024	65

梅毒は、性行為などで感染する病気です。皮膚や粘膜の小さな傷から感染するため、キスでもうつることがあります。心配な時は早めに検査を受け、症状がある時は受診しましょう。

詳しくは1コナラ

【船橋市保健所で受けられる検査】  
HIV検査（完全予約制）  
梅毒・クラミジア検査（HIV検査と同時）

船橋市保健所  
健康危機対策課 結核感染症係  
047-407-2867 申込は1コナラ

●無料匿名のHIV検査に併せて梅毒検査を実施している他機関を知りたいときは以下のWebサイトから検索できます。  
・HIV検査情報サーチ・エイズ予防情報ネットAPI-Net  
・HIV検査・相談マップ・全国HIV/エイズ・性感染症 検査・相談窓口情報サイト

